

認定こども園旭幼稚園関係者評価

北野病院院長 北野敬造
長野市特別支援教育巡回相談員 小野晃男
保護者 浜田寛子

1. 本園の保育の再確認

- ・旭幼稚園が掲げる崇高な理念である愛は、いつの時も祈りと先生方の導きによって子どもたちの心の奥に浸透しています。卒園後の成長はその教えの賜物です。
- ・日々の保育活動が子どもの生活に即した総合的なものであるが故に、教育要領の5領域のどの部分のねらいに当たるかを分析、検討しながら、次の指導につなげていく事が重要。
- ・縦割り編成による保育は特筆すべき点である。その良さが指導形態（朝・帰りの集まり、自由保育、昼食…）全体に及んでいる姿を挙げると良い。反面、同年齢の発達に応じた配慮として、このように対している、というような記述をした方が良い。自己決定力を身につける視点から、子どもの主体を大事にした対応の在り方（受容的、共感的）は本園の保育の姿勢として特質すべき点である。
- ・年間行事については、基盤となるもの、季節に応じた行事、横割りや縦割りカリキュラムなどを先生方で吟味された後、特に変更のあった項目や初めて行うものについては、保護者に説明があると安心して参加、協力ができます。（2015年度の登山の説明会は大変有意義でした）組織編成の変更についてもその意義や役割を伝えていただくと、より安定した信頼関係を維持でき、旭幼稚園が益々発展していられると思います。
- ・本園教育の特長を把握するために、教育目標に併せて、教育課程の概要（日課と保育のねらい）が一覧できるように示せられないものか。
 - ※ 縦割りの活動において、発達に応じた同年対応の保育も含めて。
 - ※ 本園教育（保育）を再確認する上でも、この概要は必須条件と思える。
- ・2階ホールの活用の検討を。子どもたちが体をもっと大きく動かせる場として利用できないか。（気分の発散も大切）

2. 園の施設、設備、遊具等の安全点検、施設設備の総点検

様々なシーンを想定した訓練をする中で、ベースとなるマニュアルの作成とその見直しは大切。有事に備えておくことは、地域の公益性と園児・教師の命を守り抜く手段として欠かすことができない。

また、保護者への園児引渡し訓練及び保護者への迅速な連絡方法の確立も急務。

3. 子育て支援、家庭支援体制の再構築

- ・時代のニーズや旭幼稚園の保育を維持、充実させるべく、その環境を整える努力を惜しまないことは大変感謝すべきことである。2歳児保育の充実は地域社会への大きな貢献である。遊具・設備の点検と見直しは、創造性向上と安全性確保のため重要項目である。

- ・未就園児教育の需要と重要性の高まりを受け、柔軟に速やかに活動を感覚統合的な視点を大事にしなが【※ [一例、リトミック（リズム）運動・泥んこ水あそび等] が現に行われている】カリキュラムを構築したことは大変評価できる。旭幼稚園の保育の入り口であり、参加者自身が地域社会へ情報を発信する立場にもなりえるため、こひつじ広場の役割は重要である。

4. 保育者の質の向上、研修の充実

- ・子どもをとらえる視野を広め学んだことをもとに、更に自分なりの実践を加えたものを文章化してプリントにまとめておくことが重要。

- ・教師から感じる誇りと謙虚なまなざしに共感する。守り続けるべき保育理念と深化すべき内容に吟味検討を加えながら、横割りと縦割りの教育が相互に生かされ旭幼稚園らしいカリキュラムが生まれることを願う。

5. 小学校との接続期の保育・幼小連携のあり方の再確認

入学前、各教育機関が情報をきめ細かく受け渡しし、教育が細切れにならない協力関係を今後も望む。